

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2013.10.24 No.132

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

台風豪雨被害の伊豆大島 救援募金にご協力ください!

大島町の中心部に甚大な被害が発生しています



また、高齢の被災者も多く、介護対策の強化も必要となっています。

**水・物資の確保や人的支援の強化
高齢被災者対策など切実な訴えが：**
伊豆大島では、台風26号の豪雨による大規模な土砂崩れで、甚大な被害が発生しています。多くの人命が失われ、いまでも救援が続いている状況です。週末には台風27号の接近に伴う二次災害などの発生も懸念されています。
現地の義父からの情報では、現在、島を挙げたの復旧活動が進められていますが、人手不足が深刻化しているとのことです。妻の実家がある南部地域では、小中学生も参加して炊き出しなどを行ない、被害のあった北部地域（元町）に運搬しているそうです。泥のかき出し等の人も不足しており、二次災害の危険が去って以降、早急にボランティア体制の確立が求められています。

都内全域でも募金活動が始まっています。



地域の方と一緒に救援募金に取り組んでいます。

伊豆大島の土砂災害

救援募金にご協力を

募金の受付先は
郵便振替 00190-6-772033
日本共産党東京都委員会 財政部
※「伊豆大島救援募金」とご記入ください。

日本共産党

募金の受け付けは

◆郵便振替
00190-6-772033
日本共産党東京都委員会 財政部
※「伊豆大島救援募金」とご記入ください。
または、
◆山田耕平
090-9973-0941
まで、ご連絡ください。

救援募金に取り組んでいます
ご協力をお願いします

党都議団は、現地調査をもとに、被災者の救助・救援、復旧に全力をあげるよう猪瀬都知事あてに申し入れを行いました。（申し入れの内容は、都議団ホームページに掲載）

妻の実家 伊豆大島

妻の実家（大島町差木地）は無事でした。
みなさんのお声掛けに深く感謝いたします!

大島の土砂災害発生を受けて、多くの方から声を掛けて頂きました。本当にありがとうございます。ご心配をおかけしましたが、妻



大島の義父と息子
消防団本部前で撮影

の実家は、島の南部にあり、大きな被害は発生しませんでした。

現在、実家の両親も救援活動に全力を挙げているそうです。

台風27号が過ぎた後、私も現地の支援に入ります。

区民サービスの大幅な後退…

区立施設再編整備計画 (素)ってなに？

緊急学習会 & 意見交換会

児童館施設
廃止??

ゆうゆう館
転用??

区民事務所
会議室廃止?

◇話し 日本共産党杉並区議会議員
社会福祉士 山田耕平

第一回

◇日時 11月3日(日) 10:00~12:00

◇場所 本天沼区民集会所 第四集会室
(本天沼2丁目12番10号)

第二回

◇日時 11月4日(月) 10:00~12:00

◇場所 西荻地域区民センター・勤福会館 第二集会室
(桃井4丁目3番2号)

お問い合わせ (山田耕平)

連絡先 090-9973-0941

TEL・FAX 03-6765-4000

アドレス k-yamada@suginami-kugikai.jp

2013年第三回区議会定例会で「区立施設再編整備計画」「使用料等の見直し」の両素案が示されました。

児童館施設の廃止、ゆうゆう館のコミュニティ施設・保育所への転用、区民事務所会議室の廃止など、区立施設の大規模な縮減方針が明らかになりました。

「計画の中身」をお伝えする学習会です。お気軽にお越しください。

育メン日誌

二人とも、すくすく成長中！

妻と娘も退院し、家族4人での生活が始まりました。久しぶりに赤ちゃんのいる生活に戻ったのでバタバタしていますが、楽しく子育てをしています。赤ちゃんも元気に成長中です。

母親が赤ちゃんにかかりつきりになることが増えるため、私は息子に寂しい思いをさせないように、最大限のサービスを心掛けています。

息子もお兄ちゃんとしての自覚が芽生えているのか、オムツを運んだり、着替えを持ってきたりと頑張っています。



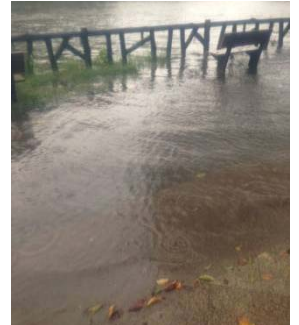
写真は、娘と息子が寝ているところ（娘は普段は赤ちゃん用ベッドで寝ています）。息子は寝像が極めて悪いので、この場合、図の位置に私か妻が寝て、壁になります。

夜泣きなどで、暫くは大変そうですが、頑張ります！

杉並区内消防団合同点検に参加 活動演技で放水を担当

10月20日(日)杉並区内消防団合同点検が行なわれました。合同点検とは、杉並区内の全消防団が協力し合い、消防団員の士気や活動技能等、日頃の訓練の成果を確認するものです。私も荻窪消防団第三分団員の一人として参加しました。

当日は、豪雨という大荒れの天候でしたが、大震災の発生に伴う家屋倒壊・火災を想定した活動演技も行なわれ、放水を担当しました。



出場に備え、待機する消防車両(左)
台風26号による豪雨時にも警戒活動。冠水した善福寺池(上)